

行政評価の実施

行政改革推進課

1－1 行政評価の概要

○行政評価とは

「行政評価」とは、「政策、施策及び事務事業について、事前、事中、事後を問わず、一定の基準、指標をもって、妥当性、達成度や成果を判定するもの」と位置付けています。対象となる政策等の範囲は、国の「政策評価」及び「行政事業レビュー」における政策等の範囲に相当します。

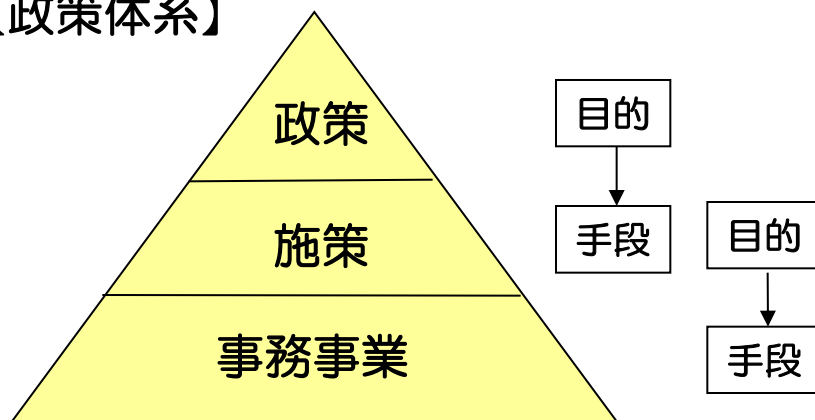
※総務省「地方公共団体における行政評価の取組状況等に関する調査結果」
(平成26年3月25日) から引用

1－2 行政評価の概要

○政策・施策・事務事業

- ・行政の活動は「政策」，「施策」，「事務事業」などに分類できる。
- ・「政策」と「施策」，「施策」と「事務事業」は目的と手段の関係にあり，全ての事務事業は政策目的を実現するために実施されている。

【政策体系】



2－1 事務事業評価

○これまでの経緯（柏市）

柏市では「事務事業評価」を実施

※対象事業数・・・1057事業（平成27年度）

- | | |
|----------|--------------------------|
| ・平成19年度 | 事務事業評価制度を導入 |
| ・平成20年度～ | 自己評価の実施
（各事業の所管部署による） |
| ・平成22年度～ | 外部評価の実施
（柏市版事業仕分け） |
| ・平成26年度～ | 内部評価の実施
（企画部等による） |

2-2 事務事業評価

○外部評価（柏市版事業仕分け）

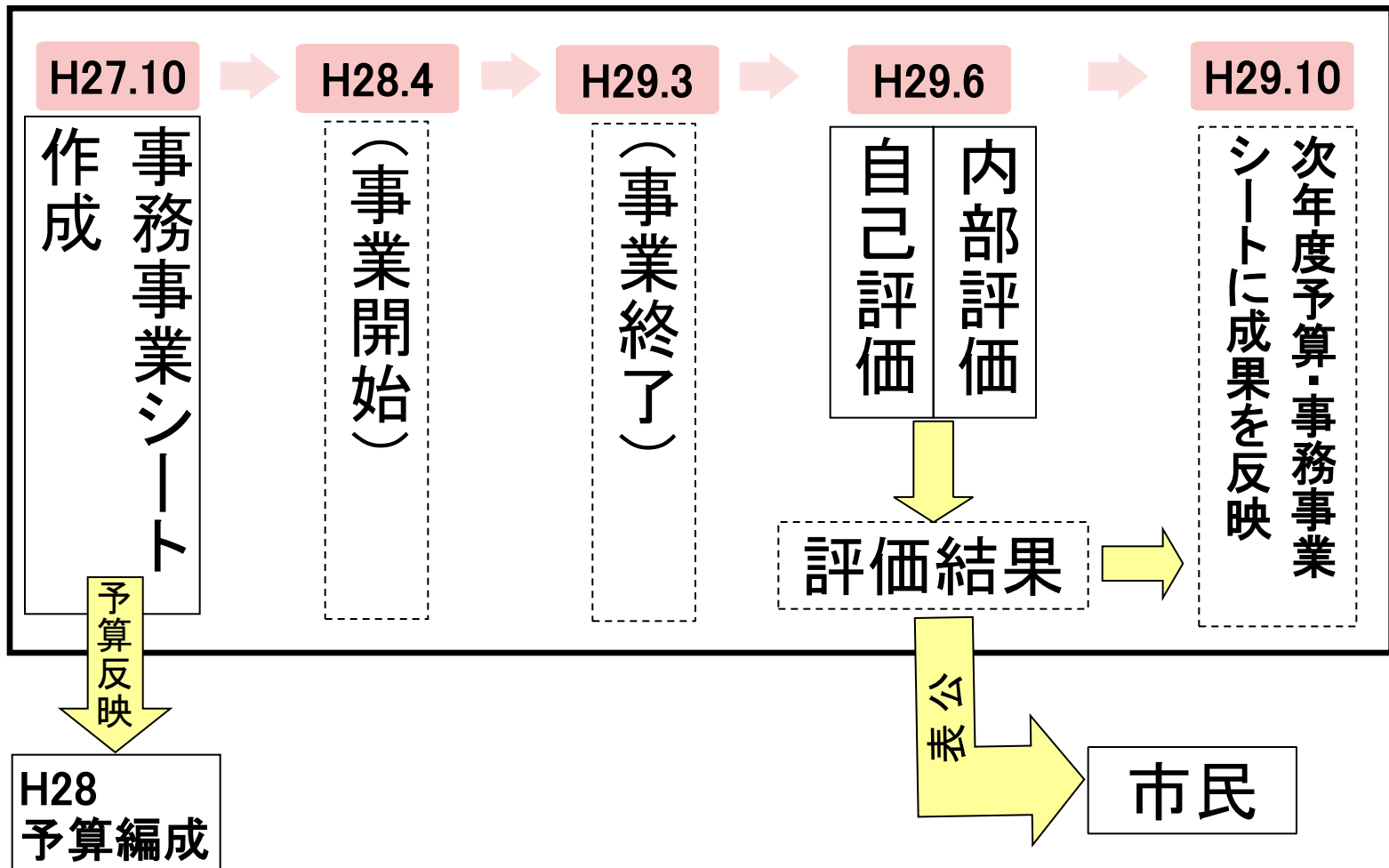
【実施状況】

年度	回	テーマ	事業数	効果額（千円）
H22	第1回	・市民サービス事業	38	▲187,698
H22	第2回	・市民サービス事業	8	▲8,184
H23	第3回	・扶助費	10	▲21,352
H24	第4回	・市民の健康づくり(増進) ・イベント	8	▲1,556
H25	第5回	・啓発 ・社会教育 ・いきがい	8	1,309
		計	72	▲217,481

※効果額は予算上のもの（対前年度比）

2-3 事務事業評価

○スケジュール（平成28年度事業）



3－1 施策評価

○柏市の状況

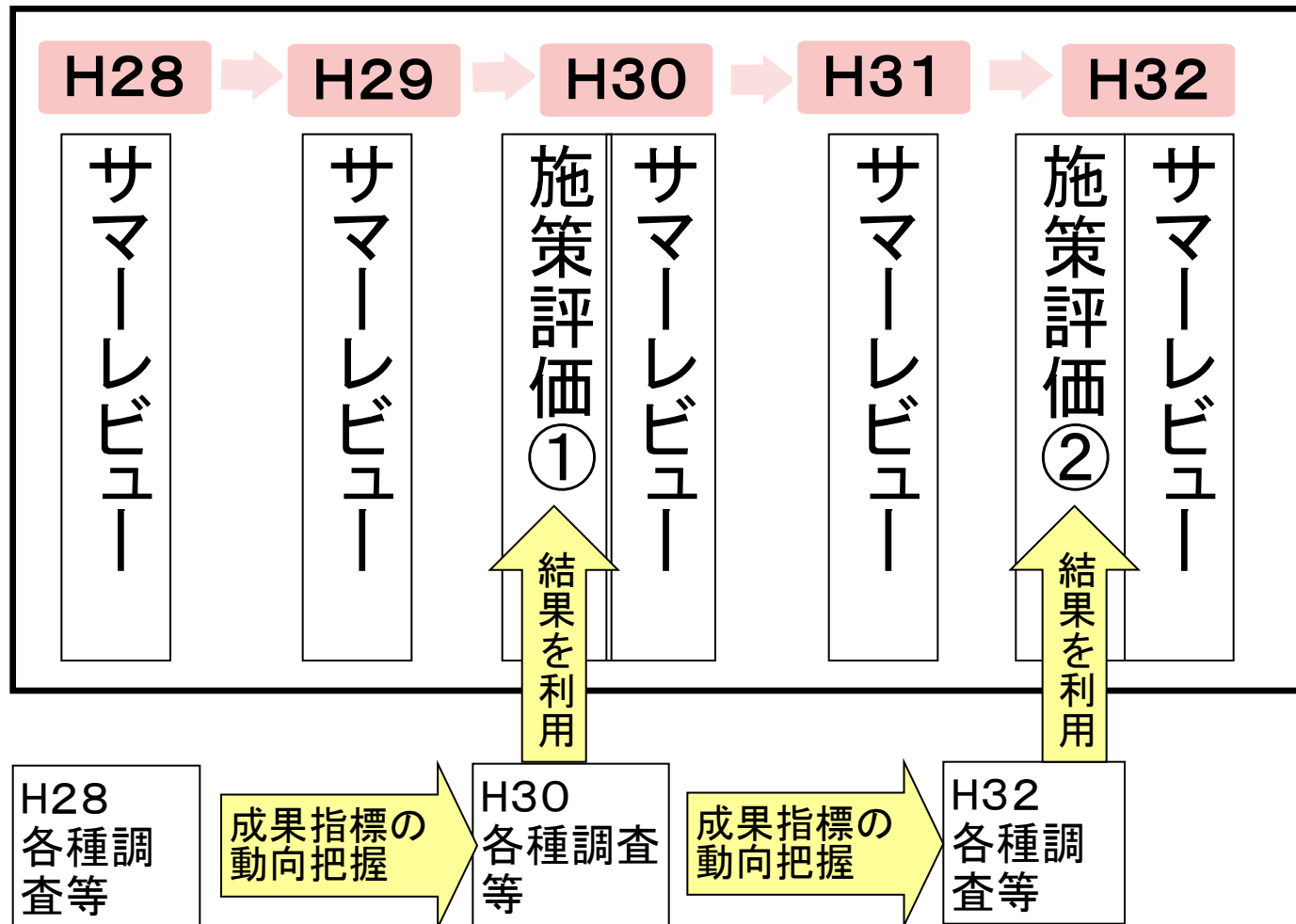
- ・「柏市第五次総合計画」の策定に合わせて、中期的な進捗管理である施策評価を、平成28年度から導入
- ・施策評価は「柏市第五次総合計画」の計画期間（5年）のうち、中間年度（3年目：平成30年度）と、最終年度（5年目：平成32年度）に実施予定



- ・重点目標や施策の達成度等を点検
- ・計画の進捗管理

3-2 施策評価

○スケジュール（第五次総合計画）



4－1 その他

○「柏市行政経営方針」アクションプラン

- ・「柏市行政経営方針」（H23～H27）の推進項目等の具体の取組みを位置付けた実施計画
- ・各取組みごとに全体計画と各年度ごとの計画を策定し，副市長や各部局長による内部評価を実施し，取組み状況の検証や見直しを行う。



「柏市第二次行政経営方針」（H28～H32）においても，実施計画であるアクションプランを策定

【目的】

- ①平成28～32年度までの財政推計における財源不足額を補う
- ②職員提案による積極的な業務改善を推奨し，業務の効率化を促進する

4－2 その他

○「柏市第二次行政経営方針」計画体系(案)

施策・取組・事業	施策・取組・事業
1. 持続可能な行政経営の実現	(4) 民間活力の導入
(1) マネジメントサイクル(PDCA)の活用	①指定管理者制度や民間委託の推進
①行政評価の実施	②民営化の推進
②わかりやすい行財政情報の提供	(5) ICT利活用による効率化・サービス向上
(2) 歳入確保の強化	①行政サービスの電子化の推進
①税收確保に向けた取組の推進	②業務のシステム化推進
②未収債権対策の強化	(6) 職員の能力向上
③受益者負担の適正化	①研修等を通じた人材育成
④市有財産の有効活用	(7) 組織体制の最適化
(3) 歳出抑制の推進	①組織の見直し
①職員定数・人件費の適正化	②人事制度等の見直し
②公債費の抑制	2. 公共施設等の最適化
③社会保障費の見直し	(1) 公共施設マネジメントの推進
④特別会計繰出金の抑制	①公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理
⑤補助金の見直し	②公共施設の適正配置・多用途化の推進
	③公共施設の民間連携の推進